

藤島地域の民家敷地にクマ出没 20日早朝駆除



庁舎産業建設課

13年前は足跡だけ

以て若いツキノワグマのオス1頭。射止めたのは猟友会員の成澤信一さん（大川渡）です。

最初の目撃情報は朝の6時50分頃で、野田目（佐藤宅）

平野部での出没は2度目で、民家敷地内は初めて。ツキノワグマが越冬のためドングリを食べて太るのはこれからで、今年はドングリが不作とのこと。今後も出没に要注意です。

藤島地域の野田目、越後京田、藤岡で20日早朝、クマの目撃情報。相次ぎ、市藤島庁舎職員や猟友会員、警察署員らが捜索。藤岡地内の民家敷地で発見し、猟銃で駆除しました。クマは体長約1・2



クマの目撃情報と捕獲場所（20日6時50分頃～8時20分頃）

東郡電気事業ものがたり 東田川郡電気事業の偉大なる軌跡

早坂清輔（上町）



今回から東田川文化記念館郷土研究サークル会員の早坂清輔氏（藤島・上町）による「東田川郡営の電気事業」について連載します。

庄内初の水力発電事業の創業

山形県において3番目、明治33（1900）年、鶴岡水力電気株式会社が大鳥川右岸の旧本郷村行沢（なめさわ）に水力発電所を稼働し、鶴岡350戸に初めて電灯が点灯された。

鶴岡水力電気株式会社

社の跡地には、現在の東北電力株式会社鶴岡営業所が位置し（鶴岡市本町二丁目2番55号）、営業所内には「鶴岡水力電気資料館」が開設され、当時を偲はせる各種写真や電気機器、電気工事等に使用した工具類などが展示されている。

行沢地内には庄内水力電気発祥の地として「行澤発電所記念碑」が建立されている。



「行澤発電所記念碑」（朝日・行沢）

行沢発電所は昭和11（1936）年に廃止

され落合発電所に移行された。

私は陽春のある日に記念碑を尋ねた。

運動広場の一角、向かいが朝日地区特産のとう餅加工所で、主婦たちが忙しく働いていた。

発電所は少し下流とのこと。畑仕事をしていた初老が話してくれた。

「私は電気を鶴岡まで送電するのと併せて、地元では使うことが出来なかったと聞いた。地元民は電気は稲妻雷と同じで、恐ろしくて危険だと言って賛成しなかった」と言う。

電気は単に光として利用されるだけでなく、電力を利用して、明治35（1902）年旧西田川郡大泉村矢馳地区（現・鶴岡市矢馳）の湯尻川に揚水機を設置し、107町歩の田んぼを潤した。

ここに「日本農業電化発祥の地」の記念碑が建立されている。



「日本農業電化発祥の地」記念碑（鶴岡市矢馳）

新文化会館が雨漏り

議員に文書で報告

平成29年10月23日

鶴岡市議会議員 各位

鶴岡市 建設部長 渡会 悟
鶴岡市教育委員会 教育部長 石塚 健

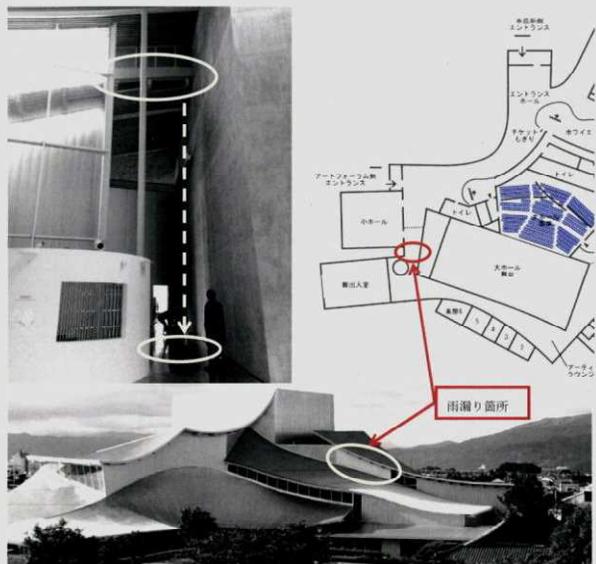
鶴岡市文化会館「荘銀タクト鶴岡」での雨漏り等について（報告）

本日23日朝、搬出入口と小ホールの廊下部分で、台風21号に伴う暴風雨によると思われる雨漏りが見つかりました。

天候が落ち着き次第、原因を設計者・施工者において調査し、必要な対策を講じるよう指示しております。

また、ゲリラ豪雨のような相当強い降雨の際、大ホール客席内に雨が漏れる事象も確認されており、このことにつきまして設計者・施工者において対策を行うこととして準備を進めております。

市民内覧会や試用期間にご指摘いただきました改善点につきましては、検討の上グラウンドオープンに向け改善してまいりたいと存じますが、これらにつきましてはあらためてご説明の機会を設けさせていただきます。



鶴岡市は23日朝、新文化会館の搬出入口と小ホールの廊下部分の2カ所で、台風21号に伴う暴風雨によると思われる雨漏りが発生し、市議会議員に文書で報告がありました。

また、大ホール客席内に雨が漏れる事も確認されています。施設完成後の2年間は瑕疵があった場合は施工業者が補修することになっており、今回の件でも設計者・施工者が対策を行うとしています。

皆川治市長が23日初

平成29年10月29日 芸術文化祭 27・29日 10時～12時 鶴岡市藤島体育館

ふじしき音楽祭 11月4日

ふじしま秋まつり つや姫の里の収穫祭

「UVFじまさん」でふじしまの魅力を文芸部で学ぶ（12時から出演予定）

主なイベント

主催：ふじしま秋まつり実行委員会（鶴岡市） 共催：鶴岡市、つや姫の里、ふじしま観光協会

登庁し、初めての記者会見で明らかにし、24日に一斉にマスコミ報道になりました。

榎本政規前市長が「未来に残る文化遺産」と豪語し、当初の倍以上の総事業費96億7600万円で合併特例債63億4600万円の借金が充てられました。

複雑な屋根の形状のため、当初から雨漏りが心配されていました。プレオープンしたばかりの施設で早々と具合が生じ、前市長と賛成議員の責任は重大です。

皆川新市長に望む 対話―「地方自治は民主主義の学校」の実施を―

―あらためて憲法を学ぶ― 青山 崇

対話で期待を集めた皆川治さんが、現職市長に1万1000余票

の大差をつけ初陣を飾った。これまで長年続いた自民党市政を変え、秋来たる快挙である。本紙9月10日付に「対話を掲げる皆川おさむ市長候補に期待」を書いた者としてわが事のように嬉しい。

しかし、長年に渡る自民党市政で、市役所内に自民党的体質が構造化されていないだろうか。それに市議会は、共産党が5議席に増や

したとはいえ自公が多数である。この古い体質に染まらないことを願う。あえて老婆心に免じて言わせて戴く。さて憲法は、第8章を地方自治とし4条を当てて重んじている。

「地方自治は民主主義の学校」ということを教えられ、生徒にもよく教えた。そのさい、アメリカ独立の時ベストセラリーになったトマス・ペンの『コモンセンス(常識)』の「タウンミーティング」を強調した。「タウンミーテ



新市長を支える

ここらでは、我が子を褒める親と青田を自慢する人を〇〇だという。これと同じようなことがあった。それは、自分が建てた文化会館を「未来への遺産」と称したからだ。

▲建物と値段の高さの反省でなく反撃を考えたいのだから。傲慢しながらも世間を騒がせたと、報酬のカットを打ち出したが、これも効き目はなかったじゃないの。あんなに大差がついたんだからサ。

▲初めから彼らには大きな危機感があったのだと思う。それは、チラシと一緒に配られた物に共産党を非難するチラシがあったからだ。全国的に良く使う手ですが、この節・選挙民をバカにしたもので、これも裏目に出たんじゃないかな。それにつかえ。▲権力を倒すのに市民

ィング」は「街の対話」で、住民対話による直接民主主義をいい、民主主義の土台である。今は議員による間接民主主義だが、直接民主主義の心を忘れてはなるまい。

皆川新市長はよく心得ていて、市政に「民主主義の学校」を取り入れようとしている。職員との対話以上に、形式ばらない市民との車座的な対話の集いを実施して欲しいものである。

との共闘が進んできたが、そのために共産党は自らの候補者を下してまでも目的を追求してきた。この姿勢が怖いから無党派層を切り離したかったのだ。

▲それがまた、与党派のある事務所開きで、延々とそんな演説をやったもんだと。あんな優しい顔の加藤議員がイザ議会となるとヨツポド怖かったんだろネー。ま・そんな仲間が5人になるんじや、彼にしてみれば事件というところか。その集落でも票を減らしていったんじやないですか。▲市民によく説明しないで建てた文化会館。新しい市長候補は、「対話を鶴岡を元気に」をメインにしており、これを支えるのが5人の共産党議員と打ち出し選挙を戦った。おかげさまで公約通りに仕事ができることとなった。みなさん、ありがとうごさいます。(石川)